

# 3 ミュージカルの誕生



図1 音楽劇『黒い悪魔』  
(1866年初演)の広告  
(出所：ニューヨーク市立博物館。)

▷ 1 ドイツの芸術家ヨハン・ゲーテ (Johann Goethe, 1749-1832) の代表作である長編戯曲。第一部は1808年、第二部は1833年に発表された。

## 1 「ミュージカル」の遍在

いまや世界中で人気を誇るミュージカルは、19世紀末から20世紀初頭にかけてアメリカ固有の演劇ジャンルとして確立した。そもそも、18世紀のアメリカで自前の演劇文化が発展し始めたときから、舞台には音楽が溢れていた。一晩の出し物は劇に加えて歌やダンス、漫才、ものまね、曲芸などが、座付きのバンドやオーケストラにあわせてつぎつぎと繰り広げられるバラエティ形式だった。しかも、シェイクスピアのようなせりふ劇でも、物語のプロット（筋立て）や登場人物の喜怒哀楽を表現するために音楽やダンスを盛り込む演出が普通だった。音楽劇『黒い悪魔』(1866年初演、図1)は当時を代表する作品で、『ファウスト』<sup>41</sup>を下敷きにした物語に30人ものバレリーナが花を添え、米演劇史上初となる一年以上のロングランを記録した。19世紀前半のアメリカでは「音楽的な劇」という意味での「ミュージカル」は演劇シーンに遍在しており、一つの劇場にあらゆる階層が集い共有する主流文化だった。

## 2 オペラとの分離

このような状態からこんにちの「ミュージカル」が生じた背景には、19世紀後半におきたアメリカ社会の変化がある。産業革命後に工業が発展するにつれて中産階級が生まれ、ヨーロッパやアジアから流入した移民が労働者階級を形成した。新しい価値観と社会規範が作られるなかでアイデンティティ不安を感じた人々は個人と階級に対する自覚を強め、その結果、社会構造と文化経験の序列化が急速に進んだ。1840年代には劇場が階級別に分かれ、演劇ジャンルのうちオペラがハイ・カルチャーとして特権化した。また、国家国民意識が高まる一方でヨーロッパ至上主義も依然として幅をきかせたため、オペラでも英語によるものはロウ・カルチャーとされた。こうして、アメリカ演劇文化において長年親しまれてきた「音楽的な劇」はオペラから離れて、独自の道を歩き始めることとなる。

## 3 ミュージカルを創った4要素

演劇ジャンルとしてのミュージカルが確立するにあたっては、世紀転換期のアメリカ演劇をめぐる4つの要素が影響した。一点目はオペレッタの伝統だ。オペレッタとはオペラの幕間に上演されていた喜劇的場面が独立してできた